

統合的設計による省エネ改修に向けた 省エネポテンシャル調査事業

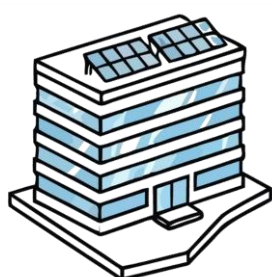
～まだ引き出せる、あなたの建物の可能性～

最大**500**万円
(助成率1/2)

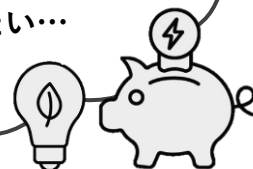
申請期限：令和 **8** 年**12**月**25**日

- ✓ 建物改修のタイミングは、建物の資産価値を向上させるチャンスです。
- ✓ 単純な機器更新ではなく、現状を調査したうえで改修を行うことで、効果的な投資と大幅な省エネ化が期待できます。さらに、ウェルネスやレジリエンス等の資産価値を向上させる取組を実施することでリーシング力や生産性の向上等が期待できます。
- ✓ 東京都は、建物の実績に即した最適な改修を促進するための省エネポテンシャル調査に必要な経費の一部を助成します。

設備が古くなってきたけれど、改修工事に
どこから手をつけたらよいか分からない…



- ・そもそも改修は必要？
- ・機器を取り換えればよい？
- ・改修の省エネ効果は？
- ・費用が知りたい…



省エネポテンシャル調査

建物全体の省エネ性能の把握や、現状のエネルギー使用量の把握・
分析による建物固有の課題や改善の余地の抽出を目的とした調査



- ・調査を踏まえた運用変更・チューニングで省エネ化
- ・より効果的な改修計画の具体化



調査に係る費用を助成



メーター設置・計測計量



データ分析



改修方針提案

－調査から見える省コスト・省エネ－



運用状況に対して
機器容量が過大

容量最適化で
改修費低減



不適切な設定値で
無駄な運転が発生

設定変更で
光熱費削減



冬の窓際が寒く、
入居者に不満あり

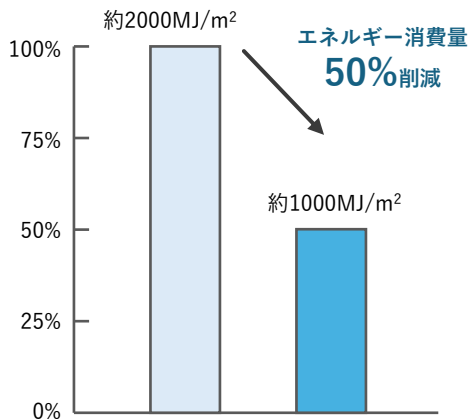
断熱改修で
窓際環境改善

専門的な調査に基づくチューニングや改修によって 省エネだけにとどまらない様々な効果を得ることができます

✓ 大幅な省エネ化
(光熱水熱費の削減)
⇒ テナントへの還元

✓ 建物の環境負荷低減
⇒ 環境意識の高い
テナントの誘致

✓ 建物のサービス価値向上
⇒ 快適性・知的生産性
・レジリエンス向上



《統合的設計による改修に向けた省エネポテンシャル調査事業》

事業期間 : 1年(令和8年度)

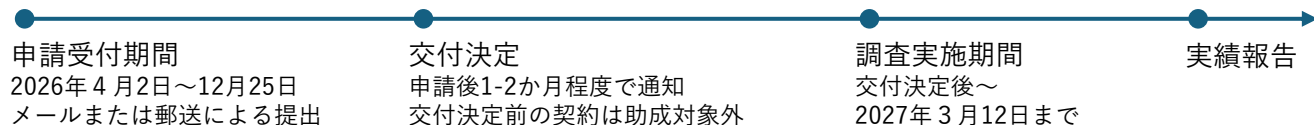
対象事業者 : 都内に延床面積10,000m²以上の事業所を所有する事業者等
※建物所有者以外の、所有者の許可を得て助成対象事業を実施する者も対象

主な助成要件 : ①統合的設計による改修に向けた省エネポテンシャル調査の実施
②改修によるエネルギー削減量及び改修後のエネルギー消費量の算出
③本事業を踏まえた改修の実施(調査終了の翌年度から3年度以内に着手)

助成対象経費 : 建物使用者へのヒアリング、データ収集及び分析、改修計画の提案等に必要となる費用
電力量計及び熱量計等のメーターの設置等エネルギーの計測に必要な費用

助成金交付額 : 助成対象経費の2分の1(上限500万円)

スケジュール :



〈交付要綱・募集要項・様式等はこちらから〉

統合的設計による改修に向けた省エネポテンシャル調査事業|統合的設計による省エネ改修|東京都環境局
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/renovation/preliminary_survey

※令和9年度の統合的設計による省エネ改修の技術実証事業については、省エネポテンシャル調査の助成を受けることが要件となります。
また、技術実証事業の応募に際し、令和8年度省エネポテンシャル調査事業の中間報告書の提出が必要です。
その他詳細はホームページをご参照下さい。

お気軽にご相談ください

統合的設計による改修に向けた省エネポテンシャル調査事業運営事務局

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第二本庁舎20階南側

電話番号 : 03-5388-3663

メールアドレス : integrative-design@ml.metro.tokyo.jp

※ご質問がある場合は、以下より質問票をダウンロード・質問を御記載の上、
上記メールアドレスまで御送付いただきますようお願いいたします。

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kankyo/-shitsumonsoufu>